

第2期萩市総合戦略 令和5年度効果検証

萩市総合政策部企画政策課

目次

1 だれもが生きいきと暮らせるまちづくり	1
①持続可能な医療体制の構築	1
②地域ぐるみの助け合い「地域包括ケアシステム」の深化・推進	2
③青年期から高齢期に至るまでの健康の維持増進	3
④障がい者の社会参加の促進	4
⑤安心して質の高いサービスの確保	5
⑥その他全般的事項	6
2 子育ての幸せが実感できるまちづくり	7
①妊娠・出産・子育て環境の充実	7
②子どもたちの笑顔があふれる居場所づくり	8
③仕事と子育ての両立支援	8
④出会い・結婚サポートの充実	9
3 未来を担うひとを育むまちづくり	10
①「志」教育の推進	10
②新しい時代に必要となる資質・能力の育成	11
③地域とともにある学校づくりの推進	11
④萩の未来を支える教育機会の充実	12
⑤その他全般的事項	13
4 産業活力があふれるまちづくり	13
①地域のにぎわいを取り戻す地場産業の再生	13
②起業・創業と企業誘致の推進	14
③企業人材の育成と雇用拡大の支援	15
④力強い農林水産業の推進	16
⑤地域産業の担い手・後継者育成	18
⑥地域経済の発展を加速化する高速道路ネットワークの形成	20
⑦その他全般的事項	20

5 魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	20
①全国に誇る萩のまちなみの継承	20
②文化財の保存と活用による萩のにぎわいづくり	21
③文化のおたから、自然のおたから、産業のおたからの再発見・継承	22
④萩ジオパーク構想の推進	23
⑤観光地経営の視点に立った観光地域づくりの推進	24
⑥観光客誘致の積極展開	25
⑦その他全般的事項	26
6 生活基盤の充実した住みよいまちづくり	26
①暮らしに密着した交通網の形成	26
②生活サービス機能の維持・向上	27
③持続可能で快適な環境づくり	28
④防災体制の強化	29
⑤地球にやさしい環境づくり	30
7 だれからも愛されるまち、求められるまちづくり	31
①市民との協働による元気なコミュニティづくり	31
②萩の魅力をいかした移住・定住	32
③市民一人ひとりが輝くまちづくり	33
④地域の特色をいかしたまちづくり	34
⑤魅力ある離島の発展	35
⑥DXによる幸せなまちづくり	36
⑦その他全般的事項	36

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
1 だれもが 生きいきと 暮らせる まちづくり	KGI：市民満足度の向上	向上	-	28.7%	30.8%	27.8%			-27.8%	
	KGI：市民満足度の向上（満足されていない方の割合）	10.0%	16.3%			18.6%	22.5%	-	3.9%	
①持続可能な医療体制の構築										
主 な 取 組	KPI①：萩・阿武健康ダイヤル24利用件数（年間）	3,100件	1,555件	2,161件	3,071件	4,615件	3,939件	-	-676件	【KPI①】下火にはなりつつあるが、依然コロナの受診相談が多いことも影響し、相談件数は目標値を大きく上回っている。あわせて様々な機会にダイヤル24利用の周知も行っており、今後も継続して、救急医療に関わる医療従事者の負担軽減を図っていく。 【KPI②】目標数は達成しているが、職員の年齢構成や管理職への昇進等により現場へ出動しない隊員もいるため、引き続き養成に向けて取り組んで行く。数値については、1人養成したが、退職した職員がいたため増減はない。令和6年度も新規に救急救命士を養成する。
	KPI②：高度救命処置を実施できる救急救命士の養成数	33人	28人	28人	30人	34人	34人	-	0人	
	萩保健医療圏における中核病院の形成									
	市民病院、市立診療所の運営管理・設備の維持・確保									
<ul style="list-style-type: none"> ・中核病院形成に向けた検討、協議 ⇒ 萩市民病院と都志見病院との統合による中核病院の形成を目指し、基本合意に向けた協議、調整を行った。 										
<ul style="list-style-type: none"> ・市民病院の運営管理 ⇒ 持続可能な病院経営に向けた「萩市民病院経営強化プラン」を策定するとともに、地域の急性期医療の中心を担う公立病院として二次救急医療をはじめ、地域住民に必要な医療サービスの提供を行った。 ・市立診療所の運営管理 ⇒ 患者数の減少や医療従事者の不足など診療所の運営は厳しくなっており、グループ化や集約化等、体制見直しを検討している。 										
救急医療体制の確保										
<ul style="list-style-type: none"> ・一次救急の維持 ⇒ 在宅当番医制及び休日急患診療センターの運営により、一次救急の維持を図った。 ・二次救急の維持 ⇒ 3病院の輪番制により二次救急を維持した。 										

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性		
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比			
②地域ぐるみの助け合い「地域包括ケアシステム」の深化・推進											
1 だ れ も が 生 き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り	KPI①：認知症サポーターの養成数（累計）		10,000人	8,311人	8,840人	8,962人	9,296人	9,571人	-	275人	【KPI①】令和5年度に成立・施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の目的や基本理念に沿って、認知症施策を推進した。介護予防に関する啓発活動や、認知症サポーター養成講座など認知症支援事業を実施した。新型コロナウイルス感染症の蔓延により、令和3年度、4年度と養成講座の実施回数が減少したことが影響し、目標達成ができなかったが、認知症の人の支援や地域づくりの推進を担う住民ボランティア等も着実に増えている。 【KPI②】通所型及び訪問型サービスの提供団体数は、令和4年度団体数から増減はない。今後も各生活圏域において必要な生活支援サービスが提供できるよう、地域ささえあい推進員や地域ささえあい協議体を通じ、継続的な支援を行う。
	KPI②-1：住民主体によるサービス提供団体数 通所型		17箇所	13箇所	15箇所	16箇所	16箇所	16箇所	-	0箇所	
	KPI②-2：住民主体によるサービス提供団体数 訪問型		11箇所	9箇所	10箇所	11箇所	11箇所	11箇所	-	0箇所	
	主 な 取 組	介護予防と認知症支援の推進		<ul style="list-style-type: none"> ・一般介護予防 ⇒ 地域で自立した生活を送ることができるように、フレイルに早く気づき、日常生活の中で予防に自ら取り組めるよう、介護予防についての普及啓発を行った。 ・認知症施策の推進 ⇒ 認知症の人の本人発信支援やその家族の支援、見守り体制など、認知症の人の意思が尊重され、よりよい環境で暮らすことができる地域づくりを推進した。 							
		すべての人への権利擁護支援		<ul style="list-style-type: none"> ・萩市権利擁護支援センターの運営 ⇒ 権利擁護支援の総合相談窓口として、萩市権利擁護支援センターを運営した。 ・権利擁護支援体制の充実 ⇒ 萩市権利擁護支援センターを中核機関とし、権利擁護支援の地域連携ネットワークを活用した支援を行った。 							
		地域の支え合い活動の推進		<ul style="list-style-type: none"> ・地域ささえあい推進員の配置 ⇒ 地域の生活支援サービス提供体制づくりを支援した。 ・地域ささえあい協議体の設置 ⇒ 地域の生活支援サービス提供に向けた情報共有及び連携強化の場を設置した。 ・住民主体の生活支援環境整備 ⇒ 住民主体の高齢者生活支援サービスを実施する団体を支援した。 							
		高齢者等公共交通利用困難者への移動支援		<ul style="list-style-type: none"> ・交通空白地域外出支援サービス ⇒ 公共交通機関から遠距離にある地域及び離島における高齢者等の外出支援サービスを実施した。 ・大島地区高齢者等外出支援サービス ⇒ 市の公用車を貸与して町内会の運行により渡船場までの送迎を行った。 							

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
③青年期から高齢期に至るまでの健康の維持増進									
1 だ れ も が 生 き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り	KPI①-1：健康寿命 男	79.80歳	78.87歳	79.93歳	79.37歳	79.6歳	79.25歳	-	-0.35
	KPI①-2：健康寿命 女	84.36歳	83.74歳	83.11歳	82.64歳	85.34歳	83.54歳	-	-1.8歳
	KPI②：糖尿病患者の割合（50歳代）	6.5%	8.0%	8.5%	9.2%	8.4%	8.0%	-	-0.4%
	KPI③-1：胃がん検診受診率 男	10.0%	2.4%	0.9%	1.4%	2.1%	2.0%	-	-0.1%
	KPI③-2：胃がん検診受診率 女	10.0%	3.8%	1.1%	2.5%	3.6%	3.3%	-	-0.3%
	KPI③-3：大腸がん検診受診率 男	10.0%	3.2%	5.6%	3.3%	3.3%	3.5%	-	0.2%
	KPI③-4：大腸がん検診受診率 女	10.0%	6.8%	7.4%	7.1%	6.9%	6.9%	-	0.0%
	KPI④：特定健康診査受診率	60.0%	26.5%	24.9%	29.5%	32.2%	35.8%	-	3.6%
主 な 取 組	各種健康診査や予防接種の推進								
	<ul style="list-style-type: none"> ・成人健康診査 ⇒ 特定健康診査（生活保護受給者）、肝炎ウイルス検診、歯周疾患検診、骨粗しょう症検診、胃がん検診、子宮がん検診等、各種検診を行った。 ・がん検診の総合支援 ⇒ 特定の年齢に達した方のがん検診の無料クーポン券を交付し受診促進を図った。 ・高齢者の予防接種 ⇒ 高齢者肺炎球菌ワクチン、高齢者インフルエンザワクチンの接種を実施した。 ・新型コロナウイルスワクチンの接種 ⇒ 各対象年齢における新型コロナウイルスワクチン接種を実施した。 								
主 な 取 組	健康的な生活習慣の推進								
	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防と重症化防止の取組 ⇒ 生活習慣病予防のための食事や運動についての媒体や健康体操を作成し、周知した。節塩プロジェクトを実施し、健康相談や健康教育等、節塩運動を広めた。 ・やまぐち健康マイレージ事業の活用 ⇒ 萩市のマイレージ事業「萩にゃん。健康チャレンジ」、やまぐち健幸アプリ登録の推進を行った。 								
<p>【KPI①、②】健康寿命の延伸に向けて、生活習慣病予防と重症化予防のため節塩運動に取り組んだ。地域における健康教室や健康フェア等では感染症対策を行い、住民へのアプローチを実施した。今後も働き盛り世代への健康づくりの動機付けとして、やまぐち健幸アプリの登録の推進や健康栄養相談の場を利用し、循環器病対策への働きかけを行う。その他、至誠館大学と協働で家族で楽しめる健康体操を作成し、周知を図る。</p> <p>【KPI③】がん検診受診率向上を目指しポスター掲示や周知活動を行ったが受診率が伸びなかった。今後も働き盛り世代へのがん検診の周知の徹底を図るとともに費用への支援を継続し、受診率の向上に努める。</p> <p>【KPI④】特定健康診査受診率は、目標値には到達していないが、健診未受診者への受診勧奨事業により、受診率は年々上昇しており、今後も引き続き受診勧奨事業に加え、医療機関と連携し、受診率の向上を図っていく。</p>									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
1 だ れ も が 生 き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り	④障がい者の社会参加の促進								
	KPI①：手話通訳者数	10人	6人	6人	6人	6人	7人	-	1人
	KPI②：要約筆記者数	10人	8人	8人	8人	8人	9人	-	1人
	主 な 取 組	手話言語条例の推進							
		<ul style="list-style-type: none"> ・手話研修会の開催 ⇒ 市民、市職員を対象に開催した。 ・手話通訳者や要約筆記の配置 ⇒ 市主催の講演会等において配置した。 ・フォローアップ研修の実施 ⇒ 手話通訳者資格の取得に向け、手話奉仕員を対象に実施した。 ・奉仕員の養成講座の開催 ⇒ 要約筆記者確保に向け、市内のみの活動に限定した養成講座を実施した。 ・〈新規〉全国手話劇祭の開催 ⇒ 手話の普及や、手話言語から生まれる文化やその魅力を地方都市でも触れられることをねらいとして開催した。 							
相談支援体制の強化									
	障がい者福祉の経済的支援や環境整備								
	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的支援 ⇒ 福祉サービスの助成を行った。医療費の助成を行った。日常生活用具費の助成を行った。 ・さんみ苑、つばき園の施設修繕 ・障がいのある方の利用しやすい環境の整備 ⇒ 点字図書、拡大図書の導入など視覚障がいのある方の読書環境の充実を図った。 								

【KPI①、②】「手話言語条例」に基づき、誰もが手話に触れ、新たなコミュニケーション方法を獲得することを目指して市民参加型の手話研修会を実施した。また、手話通訳者、要約筆記者を確保するため今後も養成講座を実施する。手話通訳者数、要約筆記者数ともに目標値には達しなかった主な要因は、研修会や講座の参加者が伸び悩んだことが挙げられる。今後は市報に加え、SNSなどを活用して広く周知して行くことが必要であるとする。

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
⑤安心して質の高いサービスの確保									
	KPI①：山口県立萩看護学校（第1看護学科）卒業生の市内医療機関就職者数（年間）	5人	1人	0人	1人	1人	2人	-	1人
	KPI②：医師の初期研修受入者数	10人	17人	18人	8人	12人	11人	-	-1人
	KPI③：介護人材の不足数	41人	76人	54人	50人	67人	60人	-	-7人
1 だ れ も が 生 き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り	医療従事者の確保対策の推進								
	<p>・医療従事者の確保 ⇒ 医療従事者を志す学生に地域医療の魅力を知ってもらうため、地域医療セミナーを開催した。 市立診療所、市民病院の医師等が萩看護学校、萩准看護学院で講義、講演を実施し、市内就職の促進に努めた。 看護職員の不足を解消するため、市外から新たに二次救急輪番病院に勤務する看護職員を対象とした看護師住宅を整備した。 （令和5年度整備、令和6年度運用開始）</p>								
主 な 取 組	介護人材の確保対策の推進								
	<p>・資格取得に係る費用の助成 ⇒ 介護人材の確保、介護人材の育成及び離職を防ぐため、各種研修、介護福祉士国家試験などの費用を助成した。</p>								
<p>【KPI①】令和2年度から5年度までの実績は微増ではあるものの、目標値には到達していない。少子化・コロナ禍等の影響もあり、年々入学者数が減少していることも一因と考えられるが、萩の地域に関心を持ってもらうことも必要。令和4年度からは、萩看護学校のコミュニティ論の学習の一環として、講義やフィールドワークの受け入れなど市として協力している。</p> <p>【KPI②】目標値には到達しているところだが、医療従事者不足等の影響により、市内医療機関の受入体制が年々困難な状況となりつつある。今後も取組を継続できるよう、関係機関との連携を深めていく。</p> <p>【KPI③】介護人材不足は依然として解消されていない。ハローワーク萩管内の介護分野における令和6年3月の有効求人倍率は3.45倍と非常に高い状態である。引き続き、介護サービスを担う介護人材などの確保・定着・育成に向け、各種研修や介護福祉士国家試験などにかかる費用の一部助成を行う。</p>									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
1 だ れ も が 生 き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り	⑥その他全般的事項									
	KPI①-1：福祉ボランティア数 団体	16団体	10団体	10団体	14団体	14団体	24団体	-	10団体	【KPI①、②】関係機関の尽力により大幅な福祉ボランティア団体数の増加があった。地区社協に係る取組については、令和5年度中に新たに越ヶ浜地区での組織化を目指していたが、実現できなかった。今後も、福祉ボランティアや住民による地域福祉組織の拡充に努めていく。 【KPI③】9回のゲートキーパー養成講座等を実施し、見守り隊員が360人増加した。新規隊員数も昨年度に比べて増加しており、引き続き、学校や地区組織、事業所等広く住民に働きかけ、見守り隊員を増やしていく。
	KPI①-2：福祉ボランティア数 個人	70人	5人	5人	41人	42人	51人	-	9人	
	KPI②：住民による地域福祉組織（地区社協・町内会福祉部等）の設置数	51組織	38組織	39組織	40組織	41組織	41組織	-	組織	
	KPI③：こころの健康づくり見守り隊員数（累計）	4,000人	2,559人	3,462人	3,578人	3,811人	4,171人	-	360人	
主な取組	<p>地域福祉の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・萩市社会福祉協議会の運営 ⇒ 地域福祉活動推進事業を安定的に運営できるよう、人件費等の補助を行った。 <p>地域保健の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスク児童生徒を見守る支援者養成講座の開催 ⇒ 学校教育課と協力し、教職員を対象に開催した。 ・ゲートキーパー養成講座の開催 ⇒ 閉じこもり、自殺等の早期発見、早期対応策として心の健康づくりの支援を行った。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
KGI：希望する子どもの数（子どもを持つ予定人数）の増加	2.27人	2.21人	2.11人	2.26人	2.24人	2.22人	-	-0.02人	
①妊娠・出産・子育て環境の充実									
KPI①：育児に必要な備品購入等支援件数（累計）	1,500件	-	307件	524件	R3年度終了				
KPI②：子育て世代包括支援センター相談件数（年間）	1,000件	567件	993件	854件	679件	728件	-	49件	
KPI③-1：特定妊婦相談実施率 電話相談	95.0%	64.3%	92.3%	76.2%	100.0%	100.0%	-	0.0%	
KPI③-2：特定妊婦相談実施率 対面相談	60.0%	42.9%	34.6%	19.1%	62.5%	52.6%	-	-9.9%	
KPI③-3：特定妊婦相談実施率 家庭訪問	50.0%	32.1%	26.9%	9.5%	0.0%	15.8%	-	15.8%	
2 子 育 て の 幸 せ が 実 感 で き る ま ち づ く り	子育て世帯への経済的支援の推進								
	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費の助成 ⇒ 高校生等までの医療費自己負担額（保険適用分）を助成した。 ・誕生祝金の給付 ⇒ 令和3年4月1日以降に出生した子を持つ子育て世帯に対して市内共通商品券を給付した。 ・児童手当、多子世帯子育て支援金の支給 ⇒ 児童手当を支給した。第3子以降の保育料を助成した。 ・給食費の助成 ⇒ 萩市内の中学校、小学校に通う生徒の学校給食費を助成した。 								
	相談体制や各種講座の充実								
	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センターの運営 ⇒ 総合相談窓口として開設した。相談対応による支援をはじめ、出前講座による啓発活動を実施した。 ・出産・子育て応援事業 ⇒ 安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで、伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施した。 ・家庭児童相談室の運営 ⇒ 家庭児童相談員を配置し、虐待、いじめ、不登校など家庭の環境により生じた健全育成上の問題に対し、助言・指導を実施した。 								
	健康診査や予防接種の推進								
<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健に係る取組 ⇒ 相談対応による支援や各種健康診査の実施、妊婦健康診査費用の助成、産婦健康診査費用の助成を実施した。 ・予防歯科 ⇒ 妊婦歯科健康診査、歯科医師や歯科衛生士による歯科健診や保健指導（出前講座）を実施した。 ・予防接種の実施 ⇒ 風しんの追加的対策事業（抗体検査、予防接種）、小児定期予防接種を実施した。各種予防接種費用を助成した。 									
不妊症・不育症に対する支援									
<ul style="list-style-type: none"> ・不妊症治療費の助成 ⇒ 一般不妊治療、生殖補助医療、＜新規＞生殖補助医療通院交通費助成 ・不育症治療費の助成 ・県不妊治療専門相談会への協力 									
<p>【KPI①】令和3年度で終了</p> <p>【KPI②、③】子育て世代包括支援センターHAGUの相談件数は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、回復傾向にある。特定妊婦に関しては、全ての対象者に電話相談ができており、対面での相談が必要なケースについては実施に取り組んでいる。今後も定期的な架電による状況把握に努め、相談者に寄り添った対応、助産師が在駐している強みをいかした対応を継続する。対面相談や訪問は、必要性や本人の意向に沿って実施する。</p>									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性		
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比			
2 子育ての 幸せが 実感 できる まち づくり	②子どもたちの笑顔があふれる居場所づくり										
	KPI①：児童館の来館者数（年間）	52,000人	50,872人	43,346人	40,854人	43,185人	46,459人	-	3,274人	【KPI①】児童館の来館者数については、コロナの影響により減少していたものの、令和5年度は令和2年度を超える入館者数となった。行事等の拡充を図りながら、児童館の運営に取り組む。 【KPI②】100%を維持できているため、今後も100%を維持する。	
	KPI②：児童クラブ等利用希望受入率	100%の維持	100%	100%	100%	100%	100%	-	0%		
	主 な 取 組	保育所等の運営管理									
		<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育園の運営、民間保育所等への支援 ⇒ 公立保育園を運営するとともに、市内児童が入所している民間保育所等に対して運営経費を支援した。 ・保育士の確保対策 ⇒ 勤務されていない有資格の保育士の就職を支援した。 									
子育て拠点施設や遊び場の運営管理											
<ul style="list-style-type: none"> ・児童館の運営 ⇒ 子どもの諸活動、子育て支援事業、広報活動等を実施した。 ・プレーパークの運営 ⇒ 自己責任のもと、自由な遊びを実現する場を提供した。 ・親子の遊び場「あそぼー舎」の運営 ⇒ 創造力豊かな子どもの育成につながるよう、体全体を使ってアクティブに遊べる親子の遊び場を運営した。 											
放課後等の生活・遊び場の充実											
<ul style="list-style-type: none"> ・児童の健全育成の推進 ⇒ 小学生を対象に児童クラブを開設した。放課後子ども教室を開催した。 ・子どもの居場所づくり支援 ⇒ 子ども食堂、学習支援、相談など子どもの居場所づくりに取り組む団体を支援した。 											

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性		
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比			
2 子育ての 幸せが 実感 できる まち づくり	③仕事と子育ての両立支援										
	KPI①：病児保育利用者数（年間）	450人	299人	255人	552人	507人	1022人	-	515人	【KPI①】病児保育利用者数は、インフルエンザ等の感染症が1年を通じて流行していた影響により、利用者数が大幅に増加した。 【KPI②】休日保育利用者数は、令和4年度に比べ利用者は微減した。引き続き利用しやすい環境づくりに取り組む。	
	KPI②：休日保育利用者数（年間）	600人	592人	409人	534人	420人	413人	-	-7人		
	主 な 取 組	仕事と子育ての両立しやすい環境づくり									
		<ul style="list-style-type: none"> ・24時間保育の実施 ⇒ 夜間及び深夜勤務を伴う保護者の児童を翌朝まで預かり、仕事と子育ての両立を支援した。 ・休日保育の実施 ⇒ 日曜祝日に保護者が仕事で家庭での保育ができない児童を預かり、保育を実施した。 ・延長保育の実施 ⇒ 1時間から2時間、開所時間を超える延長保育を実施した。 ・病児保育の実施 ⇒ 病気やけがのため集団保育が困難な子どもを、一定期間専用施設で預かり、保育を実施した。 ・ファミリー・サポート・センターの運営 ⇒ 子育て相互援助組織による地域の子育て支援を推進した。 									
ひとり親家庭の支援											
<ul style="list-style-type: none"> ・児童扶養手当の支給 ⇒ ひとり親家庭の生活の安定と自立促進を目的に児童扶養手当を支給した。 ・母子家庭等自立支援給付金の給付 ⇒ ひとり親家庭で資格取得のために養成機関で修業した場合、生活費の一部や訓練講座受講経費の一部を補助した。 ・ひとり親家庭医療費の助成 ⇒ ひとり親家庭の父または母、その児童の医療費自己負担額（保険適用分）を助成した。 											

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
2 子育ての 幸せが 実感 できる まち づくり	④出会い・結婚サポートの充実								
	KPI①：結婚支援制度を活用した成婚数（累計）	10件	-	0件	1件	2件	4件	-	2件
主な 取 組	結婚を希望する男女の出会いの場の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・結婚相談所の運営 ⇒ 結婚相談所を運営しマッチング、カップリングを実施した。（令和4年7月からGO-ENセンターへ移行） ・GO-ENプロジェクトの推進 ⇒ 萩市・長門市・美祢市で共同でGO-ENセンターを運営し、婚活イベントやスキルアップセミナーを開催した。 ・出会いの場づくりの応援 ⇒ はぎ縁結び応援団へ企画を募集し、採択された企画へ補助金を交付した。 								

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
KGI：将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 小学生	90.0%	87.1%	-	80.8%	79.1%	80.4%	-	1.3%	
KGI：将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 中学生	85.0%	84.3%	-	73.6%	75.4%	72.0%	-	-3.4%	
①「志」教育の推進									
KPI①：ひとづくりセミナーの参加者数（年間）	1,000人	-	1,210人	760人	1,121人	1,298人	-	177人	【KPI①】 青少年（中学生・高校生）を対象にオンライン・会場参加の併用で開催した。参加学校数の増により、前年比より増加している。今後も市内各学校と調整していく。 【KPI②】 令和5年4月1日より、全ての萩市立小・中学校が教育委員会規則上の小中一貫教育校になったことに伴い、各中学校区で9年間を見通した学校・地域連携カリキュラムの充実が図られた。今後も学校運営協議会を中心によりよい教育活動をめざし、カリキュラムの見直しを推進していく。 【KPI③】 コロナ禍が明け、地域のひと・もの・ことを生かした教育活動が活発になったため、児童生徒が地域のよさを実感し、地域を更によくしようとする機会が増えてきた。今後も更に、自分自身が地域の担い手となるという児童生徒の意識を高めていく。
KPI②：地域の特色を生かしたカリキュラムを作成している学校の割合	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	0.0%	
KPI③：地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合 小学校	70.0%	-			43.3%	89.1%	-	45.8%	
KPI③：地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合 中学校	70.0%	-			52.0%	70.9%	-	18.9%	
3 未来を担うひとを育むまちづくり	<p>未来を切り拓くひとづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来を切り拓くひとづくりセミナーの開催 ⇒ 市内中学校・高校を対象に開催し、萩商工高等学校など一部の学校が萩市民館で聴講した。その他の学校については、オンライン開催により実施した。 ・成人式の開催 ⇒ 令和6年二十歳のつどいを開催した。 新成人（18歳）に向けた市長、教育長からのお祝いメッセージをYoutube上に掲載した。 ・わくわくキッズフェスタ開催の補助 ⇒ 子ども達に様々な体験活動を楽しんでもらうイベントの開催を補助した。 								
	主な取組	<p>特色ある教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域連携カリキュラムの作成及び改訂 ⇒ 全ての中学校区において作成済の学校・地域連携カリキュラムを、児童生徒や保護者、地域住民の声を聞きながら見直しを図り、教育活動の充実につなげた。 							

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
3 未来を担うひとを育むまちづくり	②新しい時代に必要となる資質・能力の育成									
	KPI①：中学校卒業時に英検3級以上を取得している生徒の割合	50.0%	30.8%	28.8%	46.6%	46.9%	54.0%	-	7.1%	【KPI①】 小学校における英語教育の充実に向けた取組と英語学習指導員による英検チャレンジ教室の指導の成果として、令和5年度は目標値を上回る結果となった。今後は若手教員を中心とした英語教育指導に関するスキルアップ研修を行い、教員の指導力の維持向上をめざす。 【KPI②】 算数・数学（特に小6の算数）に課題がみられる。課題が残ったまま、小学生が中学校に進学・進級している状況である。各学校の学力課題をより早く分析し、学校の状況に応じた支援を行っていく。
	KPI②-1：全国学力・学習状況調査における全国平均との比較 小学生国語	上回る	上回る	-	上回る(+3.3)	下回る(-0.6)	下回る(-0.7)	-		
	KPI②-2：全国学力・学習状況調査における全国平均との比較 小学生算数	上回る	下回る	-	下回る(-0.2)	下回る(-0.2)	下回る(-1.3)	-		
	KPI②-3：全国学力・学習状況調査における全国平均との比較 中学生国語	上回る	上回る	-	上回る(+1.4)	全国平均同数	上回る(+1.3)	-		
	KPI②-4：全国学力・学習状況調査における全国平均との比較 中学生数学	上回る	上回る	-	下回る(-0.2)	下回る(-0.4)	上回る(+1.4)	-		
主な取組	グローバル人材の育成									
	<ul style="list-style-type: none"> 英語学習指導員の配置 ⇒ 1名の指導員による放課後及び夏休みの英検チャレンジ教室を実施した。 英語教育研修会の開催 ⇒ 小学校教員を対象にした研修会を集合型で2回開催した。 英語検定3級以上受検料の補助 ⇒ 中学3年間のうち一度は補助することを周知し、受検者数を増やすよう努めてきた。 									
主な取組	学力向上の取組									
	<ul style="list-style-type: none"> 複式学習指導員の配置 ⇒ 複式学級を有する小学校を計画的に訪問し、年々増加する若手教員や複式指導未経験教員に対する指導を実施した。 授業改善支援員の配置 ⇒ ICT支援員が各小中学校を訪問し、ICT活用支援を行った。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
3 未来を担うひとを育むまちづくり	③地域とともにある学校づくりの推進									
	KPI①-1：地域の行事に参加している児童生徒の割合 小学生	85.0%	81.4%	-	80.7%	57.8%	76.4%	-	18.6%	【KPI①】 コロナ禍もあり、地域とともに、児童生徒が活動する機会が減り、数値が伸び悩んでいる。その反面、地域住民と児童生徒が熟議を重ね、児童生徒が参画する行事も増えてきており、コミュニティ・スクールの取組は確実に前進している。今後は、好事例の横展開を大切にしながら、萩市全体で取組の共有を更に進めていきたい。
	KPI①-2：地域の行事に参加している児童生徒の割合 中学生	80.0%	72.7%	-	72.9%	60.0%	58.7%	-	-1.3%	
主な取組	コミュニティ・スクールの推進									
	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクールとしての取組の推進 ⇒ 「学校・地域連携カリキュラム」をもとに、各学校において、地域の特色を生かした教育活動の展開につながった。 コミュニティ・スクール関連経費への補助 ⇒ 会議開催経費や、地域との交流活動経費を補助した。 									
主な取組	地域協育ネットの推進									
	<ul style="list-style-type: none"> 地域協育ネットの推進 ⇒ 地域学校協働活動推進員を配置し、学校、地域、家庭が連携し、子どもたちの育ちを支援した。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
④萩の未来を支える教育機会の充実									
	KPI①：児童・生徒用コンピュータ整備の割合	100.0%	18.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	0.0%
	KPI②：家庭でのオンライン学習に向けた通信環境の整備	100.0%	-			100.0%	100.0%	-	0.0%
	KPI③-1：児童100人当たりの不登校児童生徒の割合（小学校）	減少させる	0.48	0.18	0.69	1.07	1.5	-	0.43
	KPI③-2：生徒100人当たりの不登校児童生徒の割合（中学校）	減少させる	2.51	3.98	3.09	4.31	5.68	-	1.37
3 未来を担うひとを育むまちづくり	キャリア教育の推進								
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内学生への起業育成授業等 ⇒ 市内学生を対象に、起業育成授業等を実施した。 ・市内小学生・中学生へのライフキャリア教育 ⇒ 市内小学生・中学生が地域のひと・もの・ことから生き方について学ぶ学習を実施した。 ・志教育推進事業の開催 ⇒ 児童・生徒が自分たちが住んでいる地域を誇りに思い、そのよさを語るような活動を各学校独自で展開することができた。 								
	教育環境の充実及びGIGAスクール構想の推進								
	<ul style="list-style-type: none"> ・小、中学校の改修営繕 ⇒ 施設、空調設備の整備工事を実施した。LED設置工事を実施した。校舎の予防保全工事を実施した。 ・学校のICTを活用した授業環境高度化 ⇒ 大型提示装置・ZOOMを導入して授業環境を整備した。 								
	相談体制、支援体制の充実								
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども相談・支援室、萩輝きスクールの運営 ⇒ 生徒指導上の課題に対応するため、ケース会議の実施や萩輝きスクールでの支援を行った。 									
修学のための経済的支援									
<ul style="list-style-type: none"> ・奨学金の給付 ⇒ 市内高校生、至誠館大学生、至誠館以外の大学生、萩准看護学院生、萩看護学生、農業大学校生を対象に奨学金を給付した。 									

【KPI①】授業において、端末の利用が増えており、アプリを用いた意見交流等に活用も見られる。今後、児童・生徒が、多様な価値観に触れる機会を確保するため、学校間による遠隔授業の効果的な実践を図る。

【KPI②】モバイルルーターを貸与する環境も整っている。通信環境の充実により、家庭学習でICT教材を活用する学校がある。今後、個に適した家庭学習を充実させるためにも、積極的な端末の持ち帰りや活用を推奨していく。

【KPI③】不登校児童生徒の割合は、小中共に増加している。今後は、子ども相談支援室を中心にした巡回訪問等で児童生徒の状況を確実に把握し、学校教育課だけでなくその他の課とも連携することで、切れ目のない児童生徒支援を行うとともに、SCによる思春期GHPを計画的に実施し、児童生徒の「校内の居場所づくり」に努める。

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
⑤その他全般的事項									
KPI①：高校生・大学生等が参画した市の事業数（累計）	50事業	-	10事業	19事業	31事業	46事業	-	15事業	【KPI①】単年度の目標数値となる10事業を超える参画を達成した。今後も各機関と連携し、市の事業への高校生、大学生の参画を促す。
主	ひとづくり構想の推進								
な	・ひとづくり構想の推進 ⇒ 萩市ひとづくり構想推進委員会を開催し、教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価を実施した。								
取組	高等教育機関との連携 ・萩・明倫学舎の文化祭2023の運営 ⇒ 「萩・明倫学舎の文化祭2023」において、高校生にイベントの企画立案から当日運営まで参画いただいた。								

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
KGI：納税義務者1人当たりの所得	2,659千円	2,591千円	2,617千円	2,706千円	2,716千円	2,754千円	-	38千円	
①地域のにぎわいを取り戻す地場産業の再生									
KPI①：地域ブランド調査の食品想起率県内ランキング（ブランド総合研究所）	1位	3位	3位	3位	3位	4位	-	1位	【KPI①】同調査により食品以外想起率県内ランキングは1位であるものの、食品想起率の増加は容易ではなく、4年度間で伸び悩んでいる。目標値の達成には継続した取組が必要であるため、引き続き食のポータルサイトやブランドパンフレット、ふるさと寄附等を通じて、萩市の知名度を利用した食の魅力発信を図っていく。 【KPI②】はぎビズの運営について、相談件数は、年々減少傾向にあるが、満足度は目標を上回る高い水準で推移している。引き続きはぎビズの周知を図るなどの運営サポートをしていく。 【KPI③】新商品開発件数について、市の補助制度の周知徹底により目標値を大きく上回っている。引き続きこれらの制度を周知し支援を継続していく。 【KPI④】キャッシュレス決済の普及により実施率は上昇している。今後も支援制度の周知等によりデジタル化を促進する。
KPI②：はぎビズ相談件数（年間）	1,000件	-	607件	590件	480件				
KPI②：はぎビズ利用者満足度（年間）	90%	-			97.0%	94.0%	-	-3.0%	
KPI③：新商品開発件数（累計）	6件	-	4件	6件	9件	11件	-	2件	
KPI④：キャッシュレス決済の実施率	25.00%	11.28%	15.89%	16.92%	16.92%	23.95%	-	7.03%	
主	萩ブランドの推進								
な	・萩・地域ブランドの構築 ⇒ 食のブランド産品を中心にウェブサイト、紙媒体等による総合的な情報発信を行い、販路拡大や事業者の稼ぐ力の向上を支援した。								
取組	地場産業の振興 ・中小企業長期経営安定資金の融資 ⇒ 事業活動に必要な資金（運転資金、設備資金）を融資した。 ・起業化支援対策資金の融資 ⇒ 新たに事業を開始する中小企業者等に対し、事業活動に必要な資金（運転資金、設備資金）を融資した。								
取組	中小企業の事業拡大等への支援 ・中小企業等事業拡大補助金の交付 ⇒ 事業拡大へのチャレンジに補助金を交付し、販路の拡大、設備の充実及び広告宣伝等、経営力の向上を図った。 ・はぎビズの運営 ⇒ 中小企業の販路拡大や新サービス展開など、あらゆる分野の経営相談を継続的に支援した。								
取組	拠点施設の整備・機能強化 ・道の駅等の整備 ⇒ 道の駅「萩・さんさん三見」の増築工事・電気設備工事・機械設備工事を実施した。								

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
4 産業 活力が あふれ るまち づくり	②起業・創業と企業誘致の推進									
	KPI①：中心市街地の空店舗活用件数（累計）	5件	1件	3件	4件	6件	10件	-	4件	【KPI①】市の補助制度などにより中心市街地の空き店舗活用件数は目標値を大きく上回っている。引き続き制度を周知するなど空き店舗活用支援を行っていく。 【KPI②】継続的な利用があり、目標値を大きく上回っている。さらなる利用促進に向け、施設利用の周知を図りたい。 【KPI③】はぎビズと連携した伴走型の支援や、創業支援を継続し事業者に必要な支援を実施した結果目標値を大きく上回っている。今後益々の推進を図りたい。 【KPI④】はぎポルトによる積極的な移住相談の効果もあり、令和5年度は10件の実績があり目標値を大きく上回っている。今後益々の推進を図りたい。
	KPI②：インキュベーションセンター利用件数（累計）	8件	-	5件	8件	10件	12件	-	2件	
	KPI③：新規起業件数（年間）	11件	6件	11件	9件	11件	21件	-	10件	
	KPI④：移住就業・移住創業事業者数（累計）	10件	1件			5件	15件	-	10件	
起業・創業支援の推進										
主な 取 組	<ul style="list-style-type: none"> ・萩市インキュベーションセンターの管理運営 ⇒ 地域産業の振興や起業・創業、企業誘致のさらなる促進のため、萩市インキュベーションセンターを運営した。 ・はぎビズの運営 ⇒ 萩商工会議所を通じ、中小企業の販路拡大に向けたあらゆる分野の経営相談を継続的に支援した。 ・創業セミナー等支援の実施 ⇒ 商工会議所等が実施する創業者・予定者に対する相談、指導及びフォローアップに係る支援に対して補助を行った。 									
	企業誘致の推進									
<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致の推進 ⇒ 過去最多となる4社の企業誘致を実現した。 										

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
4 産業 活力が あふれ るまち づくり	③企業人材の育成と雇用拡大の支援									
	KPI①：萩市内企業の新規雇用者数（年間）	950人	883人	780人	760人	772人	740人	-	-32人	【KPI①】雇用者数は減少しているが、有効求人倍率は回復傾向にあるため、雇用情勢は改善されている。 【KPI②】移住支援部局との連携により、企業等への働きかけを積極的に行った結果、登録企業数が増加した。 【KPI③】少子化に伴う卒業生数の減少や、大学進学率の増加が人数の減少につながったものと考えられる。雇用条件や職場環境の改善を促すことが必要である。 【KPI④】市内各企業の人材の募集状況に応じ、合同企業説明会にご参加いただいている。各企業の状況により、参加・不参加の入れ替りがあるため、実績としては横ばいが続いているが、今後も引き続きマッチングの場として周知を図る。
	KPI②：やまぐち移住支援サイトへの登録企業数	20社	8社	9社	13社	15社	37社	-	22社	
	KPI③：高校等卒業生の市内就職者数（年間）	50人	32人	43人	29人	36人	31人	-	-5人	
	KPI④：合同企業説明会参加企業数	30社	25社	24社	26社	25社	26社	-	1社	
主な取組	<p>人材育成の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業人材育成塾の開催 ⇒ 萩市産業人材育成塾「熱中小学校萩明倫館」実行委員会を設置し、チャレンジマインドの醸成を図った。 <p>雇用拡大の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 就業の促進 ⇒ 合同企業説明会を実施し、高校卒業予定者と市内企業のマッチングの場を提供するとともに、市内企業の魅力を伝える企業ガイドブックを制作した。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
④力強い農林水産業の推進									
KPI：①集落営農法人連合体の組織数	3組織	2組織	3組織	5組織	5組織	5組織	-	組織	【KPI①】集落営農法人の経営合理化の手法の一つとして、法人連合体の設立支援を行っている。 【KPI②】安定した経営を図るため、繁殖牛頭数20頭以上の飼養が目標であり、20頭以上の規模に到達した経営体は令和5年度までに、累計で3経営体増加した。引き続き、安定した繁殖経営を実現するため、畜産経営の外部環境を見定めながら規模拡大を支援していく。 【KPI③】森林の団地化、主伐・再造林や木材の流通・販売体制の構築・強化を通じ、主伐による搬出材積量の増加に取り組んでおり、団地内の主伐実績が大幅に進んだものの目標数値には届かなかった。また、森林整備センター等の事業計画も注視してまいりたい。 【KPI④】前年度と比較すると増加しているが、漁業者の減少や水産資源の減少により、目標値となる水揚量には達していない。今後も漁業者への効果的な支援や水産資源の保全・生産力の向上等を推進していく。
KPI：②飼養頭数（母牛）20頭以上に規模拡大する和牛繁殖農家数	2経営体	-	1経営体	1経営体	3経営体	3経営体	-	経営体	
KPI：③搬出材積量（主伐、年間）	11,700m³	3,000m³	4,488m³	5,926m³	3,681m³	7,777m³	-	4,096m³	
KPI：④水産物水揚量（年間）	6,100t	6,041t	4,983t	5,265t	5,697t	5,699t	-	2t	
農地機能・農村機能の維持、農地集積・集約化の推進									
<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域等への直接支払 ⇒ 農地を守り農業生産活動を行う集落等に面積規模に応じて交付金を交付した。 ・多面的機能維持、発揮への支援 ⇒ 農業・農村が担ってきた地域に対する多面的機能の維持、発揮のため、農業者と地域住民の共同活動を支援した。 ・機構集積協力金の交付 ⇒ 農地中間管理機構を活用した貸付、借受による担い手への農地集積を支援した。 									
収益力の強化、担い手の経営発展									
<ul style="list-style-type: none"> ・儲かる農業経営体モデルの確立支援（ハード） ⇒ 個人の認定農業者等の農業用機械等の導入経費を支援した。 ・集落営農法人連合体の育成 ⇒ 規模拡大、低コスト化等に向けた機械、施設の導入を支援した。 ・空きハウス等農業資源フル活用事業 ⇒ 新規就農者の栽培施設等整備に係る経費を支援した。 									
有害鳥獣等の被害対策									
<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害防止の総合対策 ⇒ 鳥獣被害防止対策経費の一部を補助することにより、農業被害の軽減と所得の安定及び生産意欲の向上を推進した。 ・野猿被害軽減対策事業 ⇒ 被害軽減対策として、阿萩地区、阿北地区の各猟友会に市内全域のサル捕獲業務を委託した。 									
農林水産品の生産振興、販売促進									
<ul style="list-style-type: none"> ・儲かる農業経営体モデル確立の支援（ソフト） ⇒ 付加価値を付けた農産物・農産加工品の販売を行う農業者等を支援した。 ・萩市産木材需要拡大の支援 ⇒ 地元森林組合と製材事業者が設立した合同会社に対して、木材の円滑な供給に必要な資金の貸付を実施したほか、住宅等への地域産木材の活用、木材を持続可能なエネルギー資源として活用するための薪ストーブの整備を支援した。 ・萩の魚ブランド化推進協議会等への補助金 ⇒ 萩の魚のブランド化を推進することにより付加価値を高め、魚価の安定や消費拡大を推進した。 									
畜産業の振興									
<ul style="list-style-type: none"> ・粗飼料等の価格高騰対策 ⇒ 飼料価格が高騰していることから、畜産農家が購入した粗飼料及び単味の濃厚飼料代の一部について支援した。 									
イベント等を通じた農林水産業の振興									
<ul style="list-style-type: none"> ・萩の魚ブランド化推進協議会補助金 ⇒ 萩の魚のブランド化を推進することにより付加価値を高め、魚価の安定や消費拡大を推進した。 ・萩・魚まつりの開催 ⇒ 漁協及び関係団体が協調し、地域及び都市住民との交流を図る中で、魚の消費拡大並びに魚食普及を行った。 									

4

産業活力があふれるまちづくり

主な取組

木材の活用を通じた持続可能な地域づくり

- ・木材利用の推進 ⇒ 地域産木材の活用に向け、関係者の意見交換の場づくりや、市内中学校における授業等の普及啓発を実施したほか、市内の幼稚園・保育園児や小学生を対象とした木育体験を実施した。
- ・萩市産木材需要拡大の支援 ⇒ 地元森林組合と製材事業者が設立した合同会社に対して、木材の円滑な供給に必要な資金の貸付を実施したほか、住宅等への地域産木材の活用、木材を持続可能なエネルギー資源として活用するための薪ストーブの整備を支援した。（再掲）

次世代まで幸せになる林業

- ・主伐・再造林の推進 ⇒ 市内の樹苗生産者に対して、コンテナ苗の生産に必要な資材費の支援を実施した。
- ・森、職、人づくりの推進 ⇒ 森林環境譲与税を活用し、適切な森林整備を進めるために、森林所有者の意向調査を踏まえた森林団地を認定し、林業経営体（地元森林組合）に対し、森林団地における適切な森林整備、効率的な作業を進めるための機械化、担い手の確保・育成の取組を支援した。

水産資源の保全・生産力の向上

- ・水産多面的機能発揮対策事業負担金 ⇒ 藻場やヨシ帯の保全回復に取り組む漁業者等の活動を支援し、水産業の再生及び漁村の活性化を推進した。
- ・単独漁場改良造成等事業費補助金 ⇒ 白魚産卵漁場の改良造成、稚あゆ等の放流、アワビ等種苗の購入にかかる経費を補助した。
- ・離島漁業再生支援交付金 ⇒ 離島の漁業再生等を図るため、漁業の生産力の向上等の取組を行う漁業集落を支援した。
- ・阿武・萩地域栽培漁業推進協議会負担金 ⇒ ヒラメ、アカアマダイ、カサゴの中間育成及び放流経費の一部を補助した。

農林水産施設の整備・運営管理

- ・漁港の整備、機能増進 ⇒ 既存施設を最大限活用するため、施設の安全性を確保することを通じて漁港機能の増進を推進した。
- ・水産基盤ストックマネジメント ⇒ 施設の機能保全計画を策定し、計画的に保全工事を実施することで施設の長寿命化を推進した。

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
⑤地域産業の担い手・後継者育成									
KPI①：新規農業就業者数（累計）	40人	-	8人	16人	24人	40人	-	16人	<p>【KPI①】年平均目標8名を超える16名の就業があった。今後も、関係機関と連携して、地域農業の担い手の確保に取り組んでいく。</p> <p>【KPI②】主伐等の林業事業量の増加を見込み、新規就業者の確保は計画どおり進捗している。一方で、就業者の定着について課題が残り、引き続き就業初期段階における経済的負担の軽減対策や林業経営体が行う経営改善に係る取組の支援、就業者確保に向けた学校等へのアプローチに対する支援等を行う必要がある。</p> <p>【KPI③】年平均目標8名より多い9名の新規就業者であった。今後も漁協や県等と連携し、新規就業者の確保・育成・定着に努めていく。</p>
KPI②：新規林業就業者数（累計）	10人	-	4人	6人	8人	10人	-	2人	
KPI③：新規漁業就業者数（累計）	40人	-	8人	17人	23人	32人	-	9人	
KPI④：農援隊による農繁期支援者数（累計）	100人	-	0人	0人	0人	0人	-	人	
KPI⑤：スマート農業を導入した経営体数	5経営体	-	4経営体	12経営体	12経営体	16経営体	-	4経営体	
KPI⑥：IT企業と連携した人材育成カリキュラムの実施数（累計）	5回	-	1回	2回	3回	4回	-	1回	
4 産 業 活 力 が セ	農林水産業の新規就業者の確保、育成、定着支援								
	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農の総合支援 ⇒ 経営が不安定な就農直後の所得を確保するための支援等を実施した。新規就業者を雇用し技術習得等の研修を行う農業法人を支援した。 ・農業スタートアップの応援 ⇒ 新規就農者の経済的な負担の軽減及び安定した農業経営と生活基盤の確立を支援するための支援を実施した。 ・林業スタートアップの応援 ⇒ 林業への新規就業者の確保・育成を図るため、就業準備の資金や賃貸住宅の家賃補助等の支援を実施した。 ・漁業スタートアップの応援 ⇒ 新規漁業者の経済的負担の軽減及び漁業会社等の漁業経営の安定を図るため準備金、家賃や出展経費の一部を補助した。 ・新規漁業就業者の定着促進 ⇒ 漁協が新規就業者等にリースするために漁船等を購入する際の費用を支援した。 漁業会社等に研修経費を支給した。漁業経営を開始した方に自立化支援金を支給した。 								
	規模拡大や経営合理化への支援								
<ul style="list-style-type: none"> ・集落営農法人連合体の育成 ⇒ 規模拡大、低コスト化等に向けた機械、施設の導入を支援した。 ・儲かる農業経営体モデルの確立支援（ハード） ⇒ 個人の認定農業者等の農業用機械等の導入経費を支援した。 ・空きハウス等農業資源フル活用事業 ⇒ 新規就農者の栽培施設等整備に係る経費を支援した。 									
第一次産業のIoT化									
<ul style="list-style-type: none"> ・スマート農機の導入支援 ⇒ 次世代農業経営拡大支援事業、儲かる農業経営体モデル確立支援事業によりスマート農機導入を支援した。 									

産業人材の育成、確保

主
な
取
組

- ・グローバルIT人材確保、育成の推進 ⇒ 萩グローバルIT人材育成協議会を運営し、大学生等を対象にeラーニングを中心としたIT学習カリキュラムを提供した。
- ・特定地域づくり事業共同組合の運営支援 ⇒ 農林水産業や観光業等の事業者に対し、労働者を派遣することを目的とした事業協同組合の設立及び運営に必要な経費を支援した。

【KPI④】 山口県農業協同組合中央会が運営する農業バイト求人検索サイト（あぐぼん）等の農業援助サービスの開始及び令和4年度に「はぎ地域づくり協同組合」が設立されたことにより、支援の方法が、市単独での農繁期支援事業から移行しつつある。

【KPI⑤】 高齢化や人手不足などの課題を解決し、持続可能な農業を実現するため、スマート農機の導入を推進する。

【KPI⑥】 IT基礎知識を習得するためのeラーニングを提供するとともに、特別講座の開催やテレワークセミナーの実施など、学習の機会を提供した。（高校生・大学生・一般の受講生約90人。）今後も、IT関連企業等と連携し、リアル研修を実施するなど、IT人材の育成に努めていく。

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
4 産業 活力が あふれ るまち づくり	⑥地域経済の発展を加速化する高速道路ネットワークの形成								
	KPI①：山陰道の事業化区間の延長	事業化区間	優先整備区間	事業化区間	-	-	-	-	
主な 取組	高規格道路及び地域高規格道路の整備促進 ・山陰道の整備促進 ⇒ 大井・萩道路と益田・田万川道路が令和3年度から事業着手された。早期完成を目指して要望活動を実施した。								
5 魅力 ある歴 史・文 化・自 然を いか した まち づくり	⑦その他全般的事項								
	主な 取組	萩・明倫学舎の整備・活用 ・3号館市民ギャラリーの活用 ⇒ 令和5年度来館者 10,093人 ・コワーキングスペースについて、防音ブースを設置している1階スペースに集約し、施設の効率化を図った。 また、2階コワーキングスペースの用途を見直し、民間事業所に貸し付けることにより、新たな雇用の場を確保し産業振興の促進に努めた。							

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
5 魅力 ある歴 史・文 化・自 然を いか した まち づくり	KGI：旅行消費額	143.4億円	131.5億円	94.8億円	98.4億円	118.7億円	121.4億円	-	2.7	
5 魅力 ある歴 史・文 化・自 然を いか した まち づくり	①全国に誇る萩のまちなみの継承									
	KPI①：歴史的景観保存地区内の修景助成件数（累計）	10件	-	1件	2件	2件	6件	-	4件	【KPI①】申請件数は年度によって変わるが、老朽化した建築物や工作物が見受けられるため、今後は増加が見込まれる。 【KPI②】目標値には届かなかったものの、補助金による支援、花いっぱい運動の推進による意識高揚の結果、前年度比4人増となり、年間登録者数の平均20人を上回る増加となった。今後も応援隊に対する支援を継続し、花いっぱい運動を推進していく。
	KPI②：花と緑の応援隊登録者数（累計）	494人	294人	353人	412人	408人	412人	-	4人	
	主な 取組	歴史的景観の保存・活用 ・伝統的建造物群保存地区内の現状変更事務 ⇒ 申請、協議を処理した。 ・電柱の地中化 ⇒ 令和3年度に史跡萩城城下町の4箇所を試掘調査を実施し、遺構が確認された。電柱の地中化に向けて、遺構について文化庁と協議を進めている。 ・伝建地区の空き家等の活用 ⇒ 浜崎伝建地区の空き家を活用するための施設改修等を実施し、施設運営事業者の募集、選定を行った。								
主な 取組	景観保全や景観形成の推進 ・歴史的景観保存地区の整備 ⇒ 歴史的景観保存地区における工作物等の修景に対して補助金を交付した。									
主な 取組	花と緑の推進 ・笠山椿群生林の再生保全 ⇒ 笠山椿群生林のヤブツバキの再生・保全のため、検討委員会を開催し、現状調査と再生試験を実施した。 ・花と緑の推進事業補助金 ⇒ 市民による花と緑の推進に対する補助、花と緑の応援隊への支援、花いっぱい運動の推進、花と緑のふれあい広場の開催を行った。									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
5 魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	②文化財の保存と活用による萩のにぎわいづくり									
	KPI①：文化財公開活用施設の入館者数（年間）	262,000人	255,000人	125,190人	134,517人	177,573人	182,013人	-	4,440人	【KPI①②】 令和2年度、令和3年度についてはコロナの影響で例年開催しているイベント等を中止、縮小したことにより、入館者数、入込者数ともに低調であったが、コロナも5類に移行し、令和4年度から萩観光キャンペーン「GO TO 萩」を実施したことで、萩への全体的な観光入込数も増加し、文化財施設等もコロナ前には至らないものの回復基調となった。近年、訪日外国客も増えてきており、十分な受入体制が整備されていないことから、今後は多言語化の対応やWi-Fi環境の整備、魅力ある観光コンテンツの造成などインバウンド対策についても戦略的に行い、入館者数の増加に繋げたい。
	KPI②：文化財を活用したイベントの入込者数（年間）	151,000人	147,000人	56,495人	63,278人	84,877人	118,101人	-	33,224人	
	主な取組	世界遺産構成資産の保存・活用								
<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産ビクターセンターの運営 ⇒ 世界文化遺産に関連する情報を発信した。 ・萩の世界遺産 謎解きウォークラリー2023～を実施した。 ・萩反射炉見学会を実施した。 										
文化財等の保存・活用										
<ul style="list-style-type: none"> ・浜崎伝建地区空き家等活用プロジェクト事業 ⇒ 寄附を受けた伝統的建造物を改修し、施設運営事業者の募集、選定を行った。 ・文化財の活用 ⇒ 市内の文化財施設を会場に萩城下の古き雑たちを開催した。 										

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
5 魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	③文化のおたから、自然のおたから、産業のおたからの再発見・継承									
	KPI①：新しいおたからの発見数（累計）	4,000件	3,464件	3,680件	3,773件	3,773件	3,773件	-	0件	【KPI①、②】 ①については、令和4年度の検証期間を経て、新たな事業に取り組んだことから、実施を見送った。②については17件の活用イベント開催などを行い、実施数（累計）を増やしている。 【KPI③】 令和5年度は4回の企画展・特別展を行ったがコロナにより大きく落ち込んだ来館者数が回復していない。原因はもともと萩への観光客が萩・明倫学舎など他施設と競合していたところ、コロナ以後さらに県内他施設・他行事によりターゲット層が流出したが、それを取り戻したり他から新規開拓できる戦略を十分に打つことができなかったためと考えている。
	KPI②：おたから活用イベントの実施数（累計）	50件	20件	43件	57件	71件	88件	-	17件	
	KPI③：萩博物館の入館者数（年間）	100,000人	88,234人	32,646人	42,154人	39,581人	48,751人	-	9,170人	
主な取組	<p>萩まちじゅう博物館構想の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・萩まちじゅう博物館の推進 ⇒ おたからの調査などを行う団体を支援した。 <p>萩博物館等の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展の開催 ⇒ 全ての特別展・企画展を人数制限を設けず実施した。 <p>調査研究の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書等の発行 ⇒ 各分野の成果をまとめた萩博物館調査研究報告第19号を発行した。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
5 魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	④萩ジオパーク構想の推進								【KPI①、②】 ツアー・プログラムへの参加は前年度に比べると減少したが、全体としては増加傾向である。ガイド・プランナー数については、新規には伸びていない。アフターコロナにより今後はツアー・プログラムへの参加者数が増えることが想定されるが、現状は目標値の50%以下にとどまっているため、内容の充実、情報発信の強化に努め参加者数を増やしていく。また、引き続き講座等も行い、対応するガイド等の養成に努めていく。	
	KPI①：萩ジオパーク推進協議会公認ジオツアー・体験プログラム参加者数（年間）	500人	181人	211人	133人	254人	233人	-		-21人
	KPI②：萩ジオパーク推進協議会公認現役ジオガイド・ジオプランナー数	20人	9人	12人	12人	13人	12人	-		-1人
	主な取組	市民への普及啓発の推進								
		<ul style="list-style-type: none"> 萩ジオパーク推進協議会補助金 ⇒ 萩ジオアカデミー講座特別編、大地の日（大地の遊び人ひろば）、萩ジオパークフェスティバルを開催した。各イベントへの出展、出前講座を実施した。 萩市ジオパーク活動の補助 ⇒ 大井ふるさと愛好会（ジオサイト・鵜山台の魅力発信事業）の活動を補助した。 								
		環境保全や施設・展示の整備								
		<ul style="list-style-type: none"> ジオサイトの保全 ⇒ ジオサイトの草刈を実施した。 								
		情報発信の強化								
	<ul style="list-style-type: none"> ジオパーク活動の周知 ⇒ 萩ジオパーク推進協議会公式HPへの掲載や、SNS等での情報発信に努め、パブリシティに取り上げられた。 									
	ジオツアー等関連商品の開発									
<ul style="list-style-type: none"> 萩ジオパーク推進協議会補助金 ⇒ 公式HPの他、現地ツアー予約サービスを提供するウェブサイトに掲載し、ジオツアー等を開催した。 関連団体による取組 ⇒ 各種ジオツアーの開催、新たな体験ツアー造成等を実施した。 										

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
⑤観光地経営の視点に立った観光地域づくりの推進									
	KPI①：来訪者満足度（おもてなし）	4.4	4.38	4.5	4.63	4.65	4.69	-	0.04
	KPI②：来訪者満足度（宿泊施設）	4.4	4.3	4.39	4.52	4.45	4.43	-	-0.02
	KPI③：リピーター率	69.0%	65.4%	52.7%	52.1%	47.3%	43.1%	-	-4.2%
5 魅力ある 歴史・文化・ 自然を いかした まちづくり	滞在型観光の仕組づくり								
	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある観光コンテンツの造成支援 ⇒ 市内の事業者が造成した萩市の自然・文化・食等を活用した付加価値の高い体験コンテンツの情報を整理し、利用促進のためのクーポン発行を含む魅力的な情報発信を実施し、萩市の魅力及び認知度の向上並びに誘客及び観光消費の拡大に努めた。 ・観光キャンペーン「G O T O 萩」 ⇒ 萩・明倫学舎5周年、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」萩の5資産など5をキーワードとした観光キャンペーンを、観光事業者、地域、行政が一体となって展開し、「歴史やまちなみ」、四季折々の「花」、豊富な「食」など、萩ならではの観光資源を活用して、観光誘客に努めた。 								
	観光情報発信の強化								
	<ul style="list-style-type: none"> ・PR動画による戦略的プロモーション ⇒ 萩市観光ポータルサイト内での観光情報の充実、SNSを活用した効果的な情報発信により、HPのアクセス数も増加した。 ・魅力あるパンフレット作成・食情報の発信 ⇒ 季節ごとにイベント情報や市内の見どころを掲載した観光パンフレットや市内飲食店のガイドマップ等を発行した。 								
	観光受入体制の充実								
	<ul style="list-style-type: none"> ・周遊サイクリングの実施 ⇒ 道の駅ゆとりパークたまたがわ、いかマルシェで、レンタサイクルを実施し、地域内の周遊を促進した。 								
	観光マーケティング調査								
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光動向の調査 ⇒ 観光客への聞き取り調査や、観光地での数取り調査を実施した。 								
観光施設等の運営・維持管理									
<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設運営 ⇒ 清掃業務の委託、観光施設の維持管理、海水浴場の開設等を実施した。 ・萩・明倫学舎に係る取組 ⇒ NPO萩明倫学舎と協働により、本館から4号館まで全館の管理運営を行った。季節ごとに明倫学舎の特色をいかしたイベント等を開催し、誘客に努めた。幕末ミュージアム小川コレクション寄贈者故小川忠文氏の功績をたたえ、「小川コレクションシンポジウム」を実施し、資料の魅力と価値の周知に努めた。DX推進室と連携し、施設予約システムWGにより予約システム化に取り組んだ。旧萩藩校明倫館遺構への周遊促進、来館者へのおもてなしの向上のため、敷地内舗装を実施した。 									
観光誘客イベントの充実									
<ul style="list-style-type: none"> ・萩づくりイベントの支援 ⇒ 萩ならではの観光資源を活用したイベント「着物ウィーク in 萩」や「萩・竹灯路物語」、自然、花をテーマにした「萩・椿まつり」、「萩・夏みかんまつり」、「萩・花火大会2023」、「萩時代まつり」を開催した。また、萩・竹灯路物語に併せ、プロジェクションマッピングやGI萩の日本酒のふるまい等を行った。 									
<p>【KPI①②】</p> <p>萩市内16業者・25施設が外観や内装の改修を実施し、観光地「萩」の魅力度向上に繋がる取組を実施するとともに、観光資源を活用した体験コンテンツを提供することで、観光客の満足度は高水準を維持した。また、イベントや古民家を活用したモニターツアー等を実施し、コンテンツの磨き上げや情報発信をするなど市内観光の周遊を促進した。</p> <p>【KPI③】</p> <p>高付加価値化改修等により満足度が向上したことから、リピーター数はおおむね横ばいだったが、コロナ禍から継続的な情報発信を行ってきたことから、コロナが5類に移行したことに伴い、首都圏をはじめとした県外からの初めての来訪者が増加したことにより、リピーター率が低下した。イベントをはじめとした各施設の入込客数はおおむね増加傾向となった。引き続き、観光ニーズに対応した受入環境の整備や体験コンテンツの提供により周遊観光を促進し、滞在型観光の推進に取り組む。</p>									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	
⑥観光客誘致の積極展開									
KPI①：観光入込客数（年間）	5,000,000人	4,506,575人	3,199,061人	3,178,124人	3,614,421人	3,828,146人	-	213,725人	<p>【KPI①】 過去3年を上回り、コロナ前の84.9%まで回復した。引き続き観光需要の回復に注力する。</p> <p>【KPI②】 コロナが5類に移行し、全国的には回復してきたインバウンドも、萩市においては目標の15.9%にとどまった。しかしながら、クルーズ客船の寄港も再開し、徐々にではあるが、増加傾向にある。引き続き受入体制の整備、情報発信に努める。</p> <p>【KPI③】 高付加価値化事業による施設の休館等の影響により前年比98.3%となった。情報発信を効果的に実施し、観光需要の回復に努める。</p> <p>【KPI④】 動画を活用したプロモーションやタイムリーな情報発信やモニターツアーでのSNS配信やSNS広告などによりWEBサイトの訪問数は増加した。</p> <p>【KPI⑤】 魅力的な情報やタイムリーな情報を発信することによりフォロワー数は増加した。</p> <p>【KPI⑥】 令和5年3月に石見交通、まあるバス及びスーパーはぎ号にICOCAシステムが導入され、交通系ICカードが利用できるようになったことから、15.3%と増加している。また、令和6年2月に防長交通にICOCAシステムが導入され、萩市内のすべてのバス路線でICカードが利用可能となった。今後も利用促進を図るためPRに努める。</p>
KPI②：外国人観光客数（年間）	29,000人	14,600人	516人	14人	365人	4,692人	-	4,327人	
KPI③：宿泊者数（年間）	470,000人	405,409人	261,771人	244,119人	288,861人	283,955人	-	-4,906人	
KPI④：ホームページ訪問数（年間）	1,300,000回	1,191,381回			1,312,137回	1,561,790回	-	249,653回	
KPI⑤：SNSフォロワー数（年間）	10,000人	7,314人			8,004人	8,787人	-	783人	
KPI⑥：交通系ICカードの利用者率	50.0%	-	0.0%	13.0%	9.4%	15.3%	-	5.9%	
5 魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	観光宣伝の推進								
	<p>・観光キャンペーン「GOTO萩」展開 ⇒ 香雪園整備等の周年事業を実施するとともに、インターネットSNS広告など、プロモーションを実施した。</p> <p>・PR動画によるプロモーション ⇒ 萩市の魅力を動画配信サイト上で発信し、アフターコロナ期に速やかに観光需要を取り込めるよう準備した。</p> <p>・観光施策負担金、補助金 ⇒ 他の観光地と連携する協議会等へ負担金を支出し、観光情報の発信力を高めることで、萩市の認知度向上、観光客の誘致拡大に取り組んだ。</p>								
	インバウンドの推進								
主な取組	<p>・【再掲】PR動画によるプロモーション ⇒ 萩市の魅力を動画配信サイト上で発信し、アフターコロナ期に速やかに観光需要を取り込めるよう準備した。</p> <p>・【再掲】インバウンドプロモーション ⇒ 訪日観光WEBメディア「ジャパントラベル」にて、特集ページ、記事ページを韓国語、繁体字、英語、フランス語の4言語で順次公開した。また、掲載された全てのページ（合計16本）に対して、広告及びJapanTravel公式SNSアカウントを活用したプロモーションを実施し、海外からの萩市の認知度向上や来訪意欲の向上に努めた。</p> <p>【広告プロモーション】 キャンペーン総数：16本、インプレッション総数：2,281,888回</p> <p>・IoTなどを活用した新サービスの創出等の支援 ⇒ クレジットカード・電子マネー決済機器等を整備した。</p>								
	アクセスの充実								
<p>・萩-新山口間直行バスの運行助成 ⇒ JR新山口駅と萩を結ぶ直行バススーパーはぎ号の運行事業者に対し補助を行い、運行を継続させた。</p>									

⑦その他全般的事項

主 萩・明倫学舎の整備・活用

- な
取
組
- ・【再掲】3号館市民ギャラリーの活用 ⇒ 令和5年度来館者 10,093人
 - ・【再掲】コワーキングスペースについて、防音ブースを設置している1階スペースに集約し、施設の効率化を図った。
2階コワーキングスペースの用途を見直し、民間事業所に貸し付けることにより、新たな雇用の場を確保し産業振興の促進に努めた。

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較 前年度比	分析（要因等）・ 今後の方向性
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		

KGI：市民アンケートによる満足度指標	向上	-	30.7%	34.2%	29.2%			-29.2%
KGI：市民満足度の向上（満足されていない方の割合）	10.0%	20.9%			21.6%	18.4%	-	-3.2%

①暮らしに密着した交通網の形成

KPI①：まあーるバス利用者数（年間）	238,000人	213,943人	155,791人	159,563人	154,113人	135,259人	-	-18,854人
KPI②：ぐるっとバス利用者数（年間）	24,000人	13,383人	23,295人	23,610人	24,705人	25,216人	-	511人

【KPI①、②】まあーるバスの利用者数は令和4年度に比べて12.2%減少している。停留所の増加やルートを延伸したことから、便数が減ったこともあり、全体の利用者数は減少しているが、1便あたりの利用者人数については増加傾向にあることから、効果的な運行ができていると考えられる。ぐるっとバスは、地域内の移動手段として運行しており、令和5年度からすべての地域においてデマンド運行が開始したことから、利便性が向上し、利用者数が前年と比較し、2%増加したと考えられる。引き続き、利用しやすい交通ネットワークの構築を目指し、令和4年10月から新たなルートで運行を開始したまあーるバスの定着化とぐるっとバスの運行形態の見直しを進める。

6
生活
基盤
の
充
実
し
た
住
み
よ
い
ま
ち
づ
く
り

持続可能な公共交通ネットワークの形成

- ・地域巡回バスの運行 ⇒ 交通空白地域を含め、地域内の移動手段として、利便性の向上を図りながらぐるっとバスを運行した。
- ・交通ネットワークの再構築 ⇒ 路線バス撤退に伴い、地域内の移動手段を確保するため、生活バス、乗合タクシーを運行した。
- ・総合時刻表等の作成

市内巡回バスの維持・充実

- ・まあーるバスの運行 ⇒ 運行支援事業補助、利用促進事業補助など実施し、市民、市外来訪者の市街地における移動手段としてまあーるバスを運行した。
運行ルートを見直し、新ルートでの運行を開始した。

地方バス路線の維持・充実

- ・地方バス路線の補助 ⇒ 交通事業者へ路線バスを維持するための支援として補助金を支出した。
利用者の利便性向上による利用促進を図るため、交通事業者が導入する交通系ICカードシステムに補助金を支出した。

離島航路の維持・充実

- ・離島航路等への補助 ⇒ 事業者へ離島航路を維持するための支援を実施した。航路運賃低廉化事業を行った。

主
な
取
組

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
6 生活 基盤 の 充 実 し た 住 み よ い ま ち づ く り	②生活サービス機能の維持・向上									
	KPI①：道の駅の来訪者数（年間）	2,614,000人	1,965,000人	2,177,849人	2,304,039人	2,515,339人	2,429,299人	-	-86,040人	【KPI①】道の駅「萩・さんさん三見」の利便性向上を図るため、食堂や物販スペースの拡張や、24時間利用できる情報コーナーや授乳室、Wi-Fiを備えた休憩・交流室の整備などを行った。今後、道の駅来訪者増加に向けたPRを行っていく。 【KPI②】行政、教育、商業、交通など高次都市機能の喪失はない。引き続き、福祉、医療、商業施設などの誘導区域内への誘導や、既存施設の維持を推進し、集積率の向上に努める。 【KPI③】令和4年度からKPIを達成している。9基の携帯基地局を整備し、不感エリアを大幅に解消することができた。今後も国の補助金等の利用を含め、各キャリアへ要望を行っていく。
	KPI②：都市機能誘導区域内における誘導施設の集積率	49.0%以上	49.0%	49.0%	51.1%	51.1%	51.1%	-	0.0%	
	KPI③：携帯電話不感エリアの夜間人口	1人	60人	7人	2人	1人	1人	-	人	
主 な 取 組	小さな拠点づくりの推進									
	・道の駅等の整備 ⇒ 道の駅「萩・さんさん三見」の増築工事・電気設備工事・機械設備工事を実施した。【再掲】									
	都市計画等の策定・推進 ・都市計画マスタープランの推進 ⇒ 長期的な視点に立った都市の将来像や土地利用方針、都市施設の整備方針等の都市計画に関する基本的な方針を定めた「萩市都市計画マスタープラン」によるまちづくりを推進した。									
主 な 取 組	情報通信基盤の向上									
	・光ファイバーの整備 ⇒ 光ファイバー網整備による情報通信基盤の地域間格差の解消に向けて取り組んだ。 ・携帯電話エリアの整備 ⇒ 携帯電話の不感地帯を解消するため要望を行うとともに、整備した伝送路等を通信事業者に貸与し、基地局施設等の維持管理を行った。									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
6 生活 基盤 の 充 実 し た 住 み よ い ま ち づ く り	③持続可能で快適な環境づくり									
	KPI①：公共下水道整備率	95.0%	76.6%	77.6%	90.6%	92.2%	92.9%	-	0.7%	【KPI①】概ね計画どおり進捗している。今後も計画的に整備を進めていく。 【KPI②】物価高騰により、1事業削減したため、目標比0.5%低下した。実績率は、前年度比0.3%の上昇で平均的な上昇率となった。物価上昇を予測し、事業内容を検討する。 【KPI③】迅速かつ継続的に、粘り強く助言・指導を行ったことにより目標を達成できたが、応答が無い場合で市外在住の場合は解決が難しい。 【KPI④】計画的に事業を実施しているが、単年度0.25kmの目標に対し、実績0.07kmとなっているため、今後は、目標値の達成を目指し、予算の確保を行う。
	KPI②：水道管路の耐震化率	14.3%	12.0%	12.9%	13.2%	13.5%	13.8%	-	0.3%	
	KPI③：市内老朽危険空き家解消件数（累計）	230件	128件	175件	202件	253件	302件	-	49件	
	KPI④：側溝のがたつき解消（延長）（累計）	1.25km	-	0.18km	0.31km	0.4km	0.47km	-	0.07	
	主 な 取 組	公共施設等の維持管理								
		<ul style="list-style-type: none"> 萩市公共施設等長寿命化計画の運用 ⇒ 中長期的な視点により公共施設に求められる機能等を確保し、財政負担の軽減及び平準化や長寿命化を図るための萩市公共施設等長寿命化計画に基づき、計画的な改修・改築等を実施した。 市営住宅の予防保全 ⇒ 萩市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅を長期的に活用していくための居住性向上型改修や長寿命化型改修を実施した。 								
		上下水道設備の維持管理								
		<ul style="list-style-type: none"> 水道事業 ⇒ 配水管等の更新及び移設工事、配水池整備事業に伴う工事の実施、監視設備や機械設備の更新工事を実施した。 下水道事業 ⇒ 萩市公共下水道事業計画に基づき整備を進めた。 								
		道路施設、河川の維持管理								
<ul style="list-style-type: none"> 河川の維持管理 ⇒ 河川浚渫計画を作成し、計画的に浚渫を実施している。計画的に護岸改修も実施中である。 道路施設の維持管理 ⇒ 側溝整備計画を作成し、計画的に側溝整備を実施している。舗装・交通安全施設についても、計画的に実施している。 										
適正なごみ処理の推進										
<ul style="list-style-type: none"> 萩・長門清掃一部事務組合負担金 ⇒ ごみの適正処理や減量、資源化を推進する萩・長門清掃工場はなもゆの運営等に係る経費を負担した。 漂流、漂着ごみの一掃事業 ⇒ 萩市海岸線の景観美化及び環境保全を図るため、海岸に漂着したごみの回収・処理を行った。 										
空き家対策の推進										
<ul style="list-style-type: none"> 老朽危険空き家除却促進事業補助金 ⇒ 悪影響が高い空き家について、適正管理を行うよう助言等を行った。危険空き家の解体工事等の経費を支援した。 										
民間木造住宅耐震化の推進										
<ul style="list-style-type: none"> 民間木造住宅耐震診断、耐震改修の促進 ⇒ 民間木造住宅の耐震化向上を目的に、耐震診断を行った。 										

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
6 生活 基盤 の 充 実 し た 住 み よ い ま ち づ く り	④防災体制の強化								【KPI①】地域の防災リーダー的な役割を担う人材の不足、災害に対する危機感が希薄であることなどから、目標には届いていない。 ただし、コロナ禍の収束及び能登半島地震の影響を受け、訓練や防災講座の開催件数は増加傾向にあることから、訓練開催を促し、地域の防災力向上を図っていく。 【KPI②】訓練の実施件数は例年実施するポンプ性能試験時に放水訓練を取り入れる等により、団員の負担を増すことなく訓練を行うことができた。消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律を軸に大規模災害等に対応する訓練を取り入れる必要がある。分団単位から方面団単位、方面団単位から団全体での連携訓練も重要となってくるため、単位を大きくした訓練、指揮命令系統、安全管理等の座学等の教養訓練も行っていく。	
	KPI①：自主防災組織による訓練実施地区数（旧小学校区）	21地区	5地区	2地区	1地区	3地区	9地区	-		6地区
	KPI②：消防団員の教育・訓練の実施件数（年間）	135回	113回	78回	61回	102回	216回	-		114回
	地域防災力の向上									
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災マネージャーの設置 ⇒ 防災訓練の立案と実行、住民への啓発活動、防災計画の見直し、災害発生時の関係機関との連携強化のため、設置した。 ・防災リーダーの育成、訓練の実施 ⇒ 地域防災マネージャーを活用して、地域防災リーダー養成研修、ステップアップ研修を実施した。 萩市防災訓練を実施した。 									
	避難所機能、防災設備の充実									
	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の機能強化 ⇒ 非常食、毛布、アルミマット、間仕切り、発電機、携帯電話用マルチ充電器等を整備した。 									
	消防機能の強化									
	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の訓練 ⇒ 常備消防との総合訓練や消防操法訓練、各分団ごとに必要な教育・訓練、各研修等に参加し、消防力の強化に努めた。 ・共同運用による通信指令体制の充実・強化 ⇒ 萩市、山口市、防府市における消防通信指令業務の共同運用に向けたシステム調達支援業務を実施した。 									
	主な取組									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
6 生活 基盤 の 充 実 し た 住 み よ い ま ち づ く り	⑤地球にやさしい環境づくり									
	KPI①：ごみリサイクル率	28.0%	22.0%	23.9%	21.5%	21.3%	21.8%	-	0.5%	【KPI①】資源ごみ集団回収量の減少等により目標未達となった。ごみの地産地消をPRする等リサイクル推奨をしていくとともに、3きり運動等を通じてごみ減量化についても推進していく。 【KPI②】リサイクル意識啓発のための講座やイベントを毎月実施している。今後もFMラジオやインスタグラムで積極的に情報発信し、来場を促していく。 【KPI③】下水汚泥の搬入量が大きかったため目標未達となったが、全体的には事業系ごみ量は減少傾向にある。引き続き3Rの啓発活動を推進していく。
	KPI②：エコプラザ萩の来場者数（年間）	10,500人	10,000人	8,559人	8,104人	10,840人	11,488人	-	648人	
	KPI③：清掃工場に搬入される事業系ごみ量（年間）	4,454t	4,688t	4,713t	4,789t	4,634t	4,904t	-	270t	
	主な 取 組	ごみ減量化の推進								
<ul style="list-style-type: none"> 啓発講座等の開催 ⇒ 定期講座及び各種リサイクル講座を開催した。映像・看板による啓発活動を実施した。 3Rの促進 ⇒ 補助金等の支出により、生ごみの減量化と古紙の再生促進を行った。不用品の再生、販売を行った。 										
低炭素（地球温暖化対策等）の取組の推進										
<ul style="list-style-type: none"> 緑のカーテンの育成 ⇒ 日差しを和らげ、エアコンの使用抑制を図る。PRのため、市役所本庁舎に緑のカーテンを育成した。 										

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
KGI：市民アンケートによる満足度指標	向上	-	19.7%	19.8%	18.8%			-18.8%		
KGI：市民満足度の向上（満足されていない方の割合）	10.0%	11.3%			11.7%	12.7%	-	1.0%		
①市民との協働による元気なコミュニティづくり										
KPI①：市民活動センター「結」の利用者数（年間）	10,700人	10,698人	9,216人	8,903人	10,082人	13,256人	-	3,174人	<p>【KPI①】令和4年度の実績値から3,174人の増加となった。主な理由として、「ハロウィンたまち&結まつり」が4年ぶりに通常開催されたこと、コロナが感染法上5類適応となり、制限なく、施設が利用されたことによるもの。引き続き、SNSによる情報提供、田町商店街との連携事業等を行い、センターの利用促進を行う。</p> <p>【KPI②】令和5年度の実績値は39.1%で目標値の40%に達していないものの、市関係各課に対し継続的に女性の登用を依頼することで、37%～39%台の高い数値を保っている。萩市男女共同参画プラン（第3次改定版）において、計画の指標として40%を掲げていることから、引き続き各課に積極的な女性登用を依頼していく。</p>	
KPI②：審議会等への女性委員の参画率	40.0%	38.5%	37.8%	38.1%	39.4%	39.1%	-	-0.3%		
自治組織等との協働の推進										
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティの推進 ⇒ 町内会等運営費補助金、地区集会所建設費補助金、広報等配布事務費交付金、防犯外灯設置費補助金を支出した。 ・行政推進員の設置 ⇒ 地区住民と行政との連絡調整を行うため、各町内会等に行政推進員を設置した。 										
市民活動団体の活動推進										
<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動センターの管理運営 ⇒ 市民活動の振興とネットワークづくりの推進を図った。 										
男女共同参画の推進										
<ul style="list-style-type: none"> ・女性団体の支援 ⇒ 萩市女性団体連絡協議会を設置し、市内女性団体の相互連携を図ることで、女性の社会参画を推進した。 ・女性相談に係る取組 ⇒ 女性相談窓口に女性相談員を配置し、解決に向けた支援を行った。暴力の予防を目的として啓発活動や情報提供を行った。さまざまな暴力の予防教育として、出前講座を実施した。 ・男女共同参画社会の推進 ⇒ 令和4年3月に策定した萩市男女共同参画プラン（第3次改定版）に基づき男女共同参画を推進した。 										
消費者行政の推進										
<ul style="list-style-type: none"> ・消費者行政の推進 ⇒ 消費生活相談員を配置し、消費者被害の未然防止と救済、トラブル解決に向けた支援を行った。消費者意識の啓発及び消費者教育の充実を図るため、出前講座を実施した。 ・消費者の育成 ⇒ 消費生活モニターを委嘱した。消費生活モニター通信を発行し、HPへの掲載等を行った。 										
安心・安全対策の充実										
<ul style="list-style-type: none"> ・広聴に係る取組 ⇒ 無料法律相談、消費生活無料相談を実施した。萩法律相談センターの運営経費に対し補助金を支出した。 ・交通安全の啓発 ⇒ 各種媒体を活用して広報活動を行った。交通安全運動を積極的に推進するため、関連機関へ補助金を支出した。 ・防犯対策 ⇒ 安全安心推進員を設置し、地域住民の要望、意見、相談に対応した。関係機関と共同で広報啓発及び実践活動を行うため、負担金を支出した。うそ電話詐欺等の被害の未然防止のため、防災メールによる情報配信を行った。 										
地域コミュニティ組織の活動支援										
<ul style="list-style-type: none"> ・萩地域コミュニティへの補助 ⇒ 萩地域子ども会育成連絡協議会及び婦人会の活動に対して補助をした。 ・魅力ある地域づくり交付金 ⇒ 環境美化活動、敬老会行事、生涯学習発表会、スポーツ行事等に対して、地域の裁量により用途を決定できる交付金を交付した。 										

7
だ
れ
か
ら
も
愛
さ
れ
る
ま
ち
、
求
め
ら
れ
る
ま
ち
づ
く
り

主
な
取
組

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
7 だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち、 求 め ら れ る ま ち づ く り	②萩の魅力をかきた移住・定住									
	KPI①：移住相談件数	910件	528件	721件	910件	1020件	1108件	-	88件	【KPI①、②】令和5年度は51世帯102人の移住があり、萩市で空き家バンク制度を開始以後、過去2番目の移住世帯数となった。特に若者子育て世帯の移住世帯数が増加しており、要因としては、市として出産祝い金や子育て支援に注力していることや、移住者支援においても若者子育て世帯への支援を拡充したことが結果に繋がっていると分析する。 【KPI③】隊員の退任後の定着率は、全国で64.9%となっており、萩市においては、全国を上回る67.4%となった。要因としては、地域おこし協力隊の着任前の体験ツアー、インターンの実施による隊員希望者と受入地域のミスマッチを無くす取組及び地域に定住した元協力隊員による現役隊員の相談に応じる仕組み等により、円滑な活動実施と地域との連携が図られたことにより、退任後の定着率の高さに繋がっているものと分析する。
	KPI②：定住相談窓口を通じた移住世帯数（累計）	530世帯	251世帯	339世帯	398世帯	449世帯	500世帯	-	51世帯	
	KPI③：地域おこし協力隊員の退任後の定着率	70.0%	50.0%	73.9%	67.7%	68.6%	67.4%	-	-1.2%	
	移住相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> はぎポルトー暮らしの案内所一運営 ⇒ 移住支援員3名を配置し「空き家情報バンク」による空き家の利活用を図るとともに、新たに移住就業コーディネーター1名を配置し、移住者の相談にきめ細かく対応し、円滑な移住を支援した。 また、ローカルエディター2名を配置し、地域と関わりたい人と地域を繋ぐために、ローカル情報の発信を行った。 空き家情報バンク利用促進 ⇒ 新たに萩市住定住情報ポータルサイトをオープンし、バーチャル内覧や、オンライン申請など利便性の向上を図った。 								
	移住体験の推進	<ul style="list-style-type: none"> お試し暮らし住宅の管理運営 ⇒ お試し暮らし体験のできる2施設を管理運営した。 萩暮らし体験ツアーの実施 ⇒ 既存の観光コンテンツとは一味違う「ヒト」「モノ」「コト」に出会う旅「萩・人に出会う旅」を実施した。 								
	移住者向け住環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 各種移住支援制度 ⇒ 移住支援のための各種補助制度を多様な媒体を活用し情報発信した。 								
	地域おこし協力隊の活動・定着の推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域おこし協力隊の設置 ⇒ 令和5年度に退任した8名のうち5名が萩市に定住した。 地域おこし協力隊インターンの実施 ⇒ ミスマッチをなくすため、事前にミッションを遂行しながら萩暮らしを体験するインターンを実施した。 								
	関係人口の創出	<ul style="list-style-type: none"> 関係人口構築の促進 ⇒ 移住スカウトサービスSMOUTを活用し、地域課題の解決に必要な人材の確保に取り組んだ。 								
	移住者の就業・創業の推進	<ul style="list-style-type: none"> はぎビズの活用 ⇒ 伴走型の事業者支援を行うはぎビズを介して、移住者の創業を支援した。 								
農山漁村交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> 萩市農山漁村交流プロジェクトの推進 ⇒ 第一次産業の資源を活用した都市と農山漁村の交流事業に取り込む萩市ふるさとツーリズムを推進した。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
③市民一人ひとりが輝くまちづくり										
7	KPI①：公民館の実施する講座・教室等の参加者数（年間）	12,000人	11,918人	6,023人	5,365人	7,281人	9,687人	-	2,406人	【KPI①】 コロナが5類に位置付けられ、令和5年度の各公民館の講座等の開催についてはコロナ禍以前の状態に戻ったことから、参加者は増加傾向にある。しかしながら、目標値には届いていない状況である。 【KPI②】 コロナが5類に移行され、スポーツイベントや大会への参加者数が徐々に増加し、KPIは、令和4年度と比較して大きく改善している。しかしながら、参加費の増加、コロナの長期化によるスポーツ離れの影響を受け、定員割れ等が起きていることから、今後はより工夫をすることで参加者数をコロナ前の水準に戻していく取組が必要となる。 【KPI③】 移動図書館の巡回時や10か月児健康相談などで読書通帳の登録を勧めている。卒園後も読書通帳を活用してもらえよう利用促進に努める。NPO萩みんなの図書館との協働で読書普及のための行事や展示を継続して行う。
	KPI②：スポーツイベントの参加者数（年間）	6,000人以上	5,700人	200人	1,546人	2,504人	3,371人	-	867人	
	KPI③：読書通帳登録者数	6,300人	5,222人	5,832人	6,090人	6,319人	6,546人	-	227人	
だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち 、 求 め ら れ る ま ち づ く り	文化イベントの開催や文化活動の普及・振興									
	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化の振興 ⇒ 萩市美術展を開催した。全国大会に出場した団体、個人に対して助成した。劇団四季ファミリーミュージカル、宝くじふるさとワクワク劇場等の大ホールイベントを開催した。 令和4年9月にオープンした萩市民ギャラリーの利用促進を図り、来館者数の増加に努めた。 ・読書の普及 ⇒ 講座やイベント等を実施し、読書通帳、電子図書館、貸出カードの新規登録につなげた。 									
	スポーツイベントの開催、生涯スポーツの普及									
	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興の補助 ⇒ 実行委員会による萩城下町マラソン・萩市駅伝競走大会・萩往還ワンデーウォークを開催し、スポーツ振興、健康増進を図った。 									
	地域コミュニティの拠点施設、文化施設、スポーツ施設の管理運営									
	<ul style="list-style-type: none"> ・各種施設の運営、維持管理 ⇒ 公民館の各種学級や講座の開設等を行った。萩市民館等の維持管理等を行った。 ・図書館の運営 ⇒ NPO萩みんなの図書館と市の協働により運営した。 									
	東京2020オリンピック・パラリンピック（ホストタウン）レガシーの継承									
主 な 取 組	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツの推進 ⇒ 萩市の特色のあるカヌー競技を推進するためカヌー体験教室を実施した。 									
	人権啓発、人権教育の推進									
	<ul style="list-style-type: none"> ・人権の心をはぐくむ市民の集いの開催 ⇒ 人権の花運動活動報告、人権講演会等を開催した。 ・人権教育の推進 ⇒ 市内を巡回して行う研修や、体験、交流活動等を主とした研修を実施した。指導者養成の講座を開催した。 									
	社会参加支援の推進									
<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり支援の推進 ⇒ 世代を問わない「ひきこもり」に特化した相談受付窓口の周知・運営を行った。 ・子ども、若者への総合支援 ⇒ 学習支援や就労支援などの支援を行うため、居場所づくりを実施した。就学、就労など社会参加や社会的自立に向けた支援を行う萩市子ども・若者総合サポート会議を運営した。 										

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
7 だから愛されるまち、求められるまちづくり	④地域の特色をいかしたまちづくり								【KPI①、②】 目標値は超過しているものの未着手の計画も多くある。 コロナ禍の期間中、感染拡大防止のため、長期間にわたり取組を休止せざるを得ない状況が続き、その間、地域住民の高齢化等によるマンパワー不足が進行したほか、物価高騰等の影響もあり、取組の実施又は継続が困難となった地区が発生している。 夢プランは住民主体の活動計画であるが、今後も取組を継続できるよう、各地域の必要に応じたプランの支援を行う必要がある。	
	KPI①：夢プランに基づく実証事業の実施件数	28事業	18事業	22事業	24事業	25事業	25事業	-		0事業
	KPI②：夢プランの事業化と事業の継続件数	12事業	0事業	14事業	15事業	20事業	20事業	-		0事業
	主な取組	<p>地域振興計画「夢プラン」の策定、推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢プランに係る取組 ⇒ 夢プランに基づく実証事業を実施した。夢プランの事業化と事業の継続を実施した。 <p>魅力ある地域づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある地域づくり交付金 ⇒ 環境美化活動、敬老会行事、生涯学習発表会、スポーツ行事等に対して、地域の裁量により用途を決定できる交付金を交付した。 ・花を活用した交流人口拡大の推進 ⇒ 交流人口の拡大のため、各地域に花を植栽した。 <p>特色をいかした交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐々並地区交流促進施設の活用 ⇒ 佐々並市にある市所有の伝統的建造物を改修整備した佐々並地区交流促進施設「みなくる」を活用し、地域内民間団体による子育て世帯の交流促進活動及び、他地区からの移住定住促進の取組を支援した。 								

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
7 だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち、 求 め ら れ る ま ち づ く り	⑤魅力ある離島の発展									
	KPI①：見島・大島・相島の水産物水揚量（年間）	3,500t	3,303t	2,559t	3,070t	3,730t	3,957t	-	227t	【KPI①】大島の水揚量が増加し、見島・相島の水揚量は減少した。大島では小型回遊魚であるアジ・サバ類の水揚量が増加したが、相島では一本釣や採貝藻の水揚量が減少し、見島では一本釣や延縄の水揚量が減少した。小型回遊魚の資源量は安定しているが、ブリなどの大型回遊魚や磯根資源は減少している。今後も漁業者への効果的な支援や水産資源の保全、生産力の向上等を推進していく。 【KPI②、③】大島・相島・見島の各人口の減少やコロナの影響により、離島航路利用者数は策定時よりも減少となった。貨物輸送量については、人口減少の影響に加え、各離島での公共工事等が減少したものと推測される。相島航路については、令和5年8月に新船フェリーが就航し、旧船よりも多くの貨物輸送が可能となったため、移動販売等、新たな貨物の輸送が見込まれる。
	KPI②：離島航路利用者数（年間）	160,000人	147,000人	110,959人	126,232人	121,912人	120,776人	-	-1,136人	
	KPI③：離島航路貨物輸送量（年間）	6,500t	6,000t	4,453t	4,737t	4,871t	4,712t	-	-159t	
	離島高校生の修学支援	・離島高校生の修学支援 ⇒ 離島に住む高校生の保護者に、本土への通学費や居住費などを対象とした修学に係る経費を支援した。								
	離島航路の維持	・離島航路の維持 ⇒ 離島において必要不可欠な離島航路を運営する事業者への支援を実施した。								
	離島の漁業振興	・離島漁業再生支援交付金 ⇒ 離島の漁業再生等を図るため、漁業の生産力の向上等の取組を行う漁業集落を支援した。								
	特定有人国境離島の支援充実	・見島の産業振興 ⇒ 特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用し、見島の戦略産品の移出及び原材料等の移入に係る輸送費の一部を支援した。								
	大島複合施設の整備	・大島複合施設の整備 ⇒ 行政、地域コミュニティ、医療、福祉の拠点となる大島複合施設は、令和3年11月に竣工した。								
	主な取組									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
7 だれからも愛されるまち、求められるまちづくり	⑥DXによる幸せなまちづくり									
	KPI①：オンライン申請が可能な手続き件数	70件	8件			11件	56件	-	45件	【KPI①】3年度間で56件の実績があり、目標に対する進捗は80%となった。令和4年5月からLoGoフォーム、令和5年4月から萩市オンライン申請マイナポータルサイトを展開し、実績は上がってきている。今後、施設予約システムの運用開始等を含め行政手続きの更なるオンライン化に努め、引き続き市民サービスの利便性の向上を目指す。 【KPI②】令和2年度から現在に至るまで48業務に活用し、削減効果は1,734時間となった。目標に対する進捗は86.7%となった。今後もRPA導入による効果が見込める業務について、積極的に活用していく。
	KPI②：RPA導入による業務削減時間（年間）	2,000時間	324時間			1,306時間	1,734時間	-	428時間	
主な取組	<p>行政手続きのオンライン化等による市民サービスの利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政手続きのオンライン化拡充 ⇒ LoGoフォーム等の利用により、オンライン申請が可能な手続き件数が増加した。また、施設予約システムを構築した。 <p>行政事務の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> DX推進体制の構築・運用 ⇒ 全庁的にDXを推進するため、組織横断的に協議を行う会議を開催するとともに、各部局にDX推進員を配置した。 RPA業務の拡充 ⇒ 令和2年度から現在に至るまで48業務に活用を実施し、削減効果は1,734時間となった。 情報システムの標準化 ⇒ 国が定める標準仕様に適合するシステムへの移行に必要な、標準仕様との比較分析などの業務を行った。 									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	分析（要因等）・ 今後の方向性	
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比		
7 だれからも愛されるまち、求められるまちづくり	⑦その他全般的事項									
	KPI①：都市・国際交流事業の参加者数（年間）	500人	300人	165人	40人	461人	443人	-	-18人	【KPI①】コロナに対する規制がなくなり、講座や交流会等の参加者数も回復傾向にある。引き続き、国際交流員を活用しながら、交流活動を推進していく。 【KPI②】マイナポイントの効果があり、単年度での目標は達成しているが、マイナ保険証の開始やコンビニでの証明書発行が可能なことをPRするなど、交付率を上げるための取組を引き続き検討する必要がある。
	KPI②：マイナンバーカード交付率	88.1%	12.9%	31.6%	47.7%	75.5%	83.7%	-	8.3%	
主な取組	<p>都市・国際交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市交流 ⇒ 国内の姉妹都市や友好都市等との交流事業を実施した。 国際交流 ⇒ 国際交流員による英語講座、異文化交流会等を実施した。 <p>市民サービスの利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 利便性の高い証明発行等 ⇒ 越ヶ浜郵便局で、公的証明書の交付に加え、国民健康保険や飼い犬の登録の受付など10業務の行政サービスを受けられるようにした。 受付の延長 ⇒ 毎週木曜日午後7時までと3月最終と4月最初の日曜日は市民課窓口の受付を延長した。 <p>マイナンバーカードの普及と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人番号カードの交付 ⇒ 出前講座や出張申請受付、窓口での無料写真撮影を実施し、申請を支援した。また、マイナポイント第2弾の申請も行った。 各種証明書のコンビニ交付 									